様式2

都市再生整備計画　事後評価シート

水戸市中心市街地地区

平成26年12月

茨城県水戸市

様式2－1　評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県	市町村名	水戸市	地区名	水戸市中心市街地地区			面積	847ha
交付期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	5,264	国費率	0.4～0.5		

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(幹線市道4号線，市道上市217号線)，公園(千波公園)，高質空間形成施設，高次都市施設
	提案事業	地域創造支援事業(白梅保育所整備事業，水戸城跡発掘調査，二の丸周辺景観整備，千波湖浄化装置改修事業，都市景観重点地区指定等表示板設置事業，都市景観形成助成補助金)

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		
	提案事業	千波湖浄化装置改修事業，都市景観重点地区指定等表示板設置事業，都市景観形成助成補助金	千波湖浄化装置改修事業：事業実施を見合わせたため削除 都市景観重点地区指定等表示板設置事業：当該事業について単市事業としたため削除 都市景観形成助成補助金：当該事業について単市事業としたため削除	影響なし
新たに追加した事業	基幹事業	道路(栄町若宮線，市道上市205号線，市道上市206号線，市道上市70号線，駅南214号線，浜田80号線，偕楽園公園上水戸線) 公園((仮称)東部公園) 地域生活基盤施設((仮称)御杉山坂下広場，(仮称)三木家，徳川光圀メモリアルパーク，(仮称)びんころ広場，樋管改修，排水路) 高質空間形成施設(水戸駅北口広場(歩行支援，障害者誘導施設)，市道上市205号線，市道上市206号線，市道上市201号線，市道上市6，266号線，市道上市250号線，水戸城跡景観整備事業) 高次都市施設(新たな子育て・多世代交流センター)，白梅保育所整備事業 地方都市リノベーション推進施設(白梅保育所整備事業)	道路：事業の交付期間内の前倒し 公園：事業の交付期間内の前倒し 地域生活基盤施設：事業の交付期間内の前倒し 高質空間形成施設：事業の交付期間内の前倒し 高次都市施設：事業の交付期間の前倒し 地方都市リノベーション推進施設：事業の交付期間内の前倒し	道路：まちづくりの目標を総合計画との整合性を図るために変更し，さらに指標及び数値目標を追加する。 公園：まちづくりの目標に影響はないが，指標及び数値目標を追加する。 地域生活基盤施設：まちづくりの目標に影響はないが，指標及び数値目標を追加する。 高質空間形成施設：影響なし 高次都市施設：影響なし 地方都市リノベーション推進施設：影響なし
	提案事業	地域創造支援事業(栄町若宮線景観設計事業)	栄町若宮線景観設計事業：事業の交付期間内の前倒し	地域創造支援事業：まちづくりの目標を総合計画との整合性を図るため変更し，あらたに指標及び数値目標を追加する。

			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
交付期間の変更	当　初	平成22年度～平成26年度	
	変　更		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値 モニタリング	数値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	歴史的景観に対する満足度	%	26.8	H21	34	H26		63.6	○	あり		二の丸周辺道路整備，景観整備及び施設整備の効果により，指標の達成につながった。	平成28年3月
										なし			
指標2	子育て支援センター利用者数	人	55,000	H21	70,000	H26		98,957	○	あり		子育て支援・多世代交流センターの整備により新たな交流拠点が形成され，指標の達成につながった。	-
										なし			
指標3	区域内の公園面積	ha	80.74	H22	85.75	H26		82.05	×	あり		交流人口の拡大のため都市公園の整備を行ってきたが，一部の都市公園整備が完了せず，目標達成には至らなかった。	平成30年3月
										なし	●		
指標4	歩行者空間に対する満足度	%	26.7	H21	36	H26		28.9	△	あり		通学路等において，安心・安全な歩道整備を行ったが，指標達成には至らなかった。	-
										なし			
指標5	最大渋滞長	m	50	H23	0	H26		-	×	あり		渋滞緩和及び中心市街地のアクセス性の向上を図るため道路整備を行ってきたが，完成が予定よりも遅れたため，指標達成には至らなかった。	平成28年3月
										なし	●		
指標6	小学校通学路中，歩道幅2m以上の区間延長	m	7,070	H23	7,890	H26		7,270	×	あり		通学路の安全確保の観点から歩道整備を行ってきたが，一部の歩道が完成しないため，指標達成には至らなかった。	平成28年3月
										なし	●		
指標7	道路冠水箇所	箇所	7	H24	3	H26		3	○	あり		集中豪雨時による浸水箇所の一部解消により，指標の達成につながった。	-
										なし			

	指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
								モニタリング	評価値				
3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	その他の数値指標1	千波公園満足度調査	%	59.4	H21				93.1			水戸のシンボル空間の一角をなす千波公園の整備により，利用者の満足度が向上し，賑わいの再生につながった。	-
	その他の数値指標2	歩行者空間満足度調査（利用者へのアンケート）	%	―	―				70.9			実際の利用者は，高い満足度を感じており，中心市街地の再生に寄与した。	-
	その他の数値指標3												
4）定性的な効果発現状況	・地域交流センター(はみんぐぱーく・みと)を整備したことにより，先に完成したわんぱーく・みとと併せた両施設が中核的拠点となり，地域の子育て支援施設との有機的な連携や多世代交流の充実，子育てしやすい環境の整備が整った。												

		実施内容	実施状況		今後の対応方針等
5）実施過程の評価	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

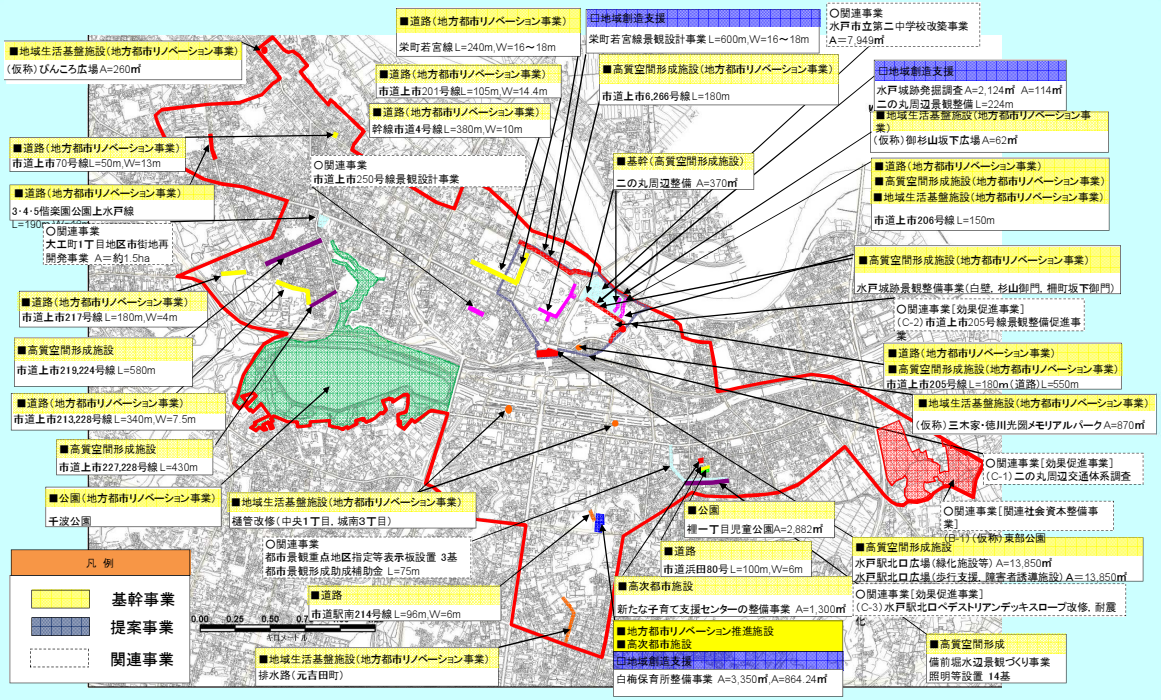
様式2－2　地区の概要

水戸市中心市街地地区（茨城県水戸市）　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：歴史と文化が共存する安心・安全なまちづくり 目標1：水戸の歴史的・文化的資源や景観を活用したまちづくりの推進 目標2：暮らしやすく子育てしやすいまちづくりの推進 目標3：便利で安心・安全に暮らすことのできる中心市街地の再生	歴史的景観に対する満足度	単位：%	26.8	H21年度	34	H26年度	63.6	H26年度
	子育て支援センター年間利用者数	単位：人／年	55,000	H21年度	70,000	H26年度	98,957	H25年度
	区域内の公園面積	単位：ha	80.74	H22年度	85.75	H26年度	82.05	H26年度
	歩行者空間に対する満足度	単位：%	27	H21年度	36	H26年度	28.9	H26年度
	最大渋滞長	単位：m	50	H23年度	0	H26年度	-	H26年度
	小学校通学路中，歩道幅2m以上の区間延長	単位：m	7,070	H23年度	7,890	H26年度	7,270	H26年度
	道路冠水箇所	単位：箇所	7	H24年度	3	H26年度	3	H26年度

第二中学校正門

幹線市道4号線



千波公園水際園路整備

はみんぐぱーく・みと

まちの課題の変化	・偕楽園や弘道館周辺地区において，道路整備や景観整備により，歴史性に配慮されたまちなみ景観が形成された。 ・中心拠点区域にある未利用地を活用して白梅保育所の移転改築を行ったことにより，公共・公益サービスの充実が図られた。地域交流センター（はみんぐぱーくみと）の整備により，多様な子育て支援，多世代交流の推進が図られ，まちの活性化に繋がっている。 ・大工町１丁目地区再開発事業の完成により，まちなか交流拠点の形成が図られた。偕楽園や弘道館周辺地区において，道路整備や景観整備により，歴史性に配慮されたまちなみ景観が形成された。 ・水戸のシンボル空間であり，市民に親しまれている千波公園の整備により，誰もが気軽に訪れることができる広場として多世代の交流が図られた。 ・局地的な集中豪雨時における低地部付近の排水路整備により，一部浸水箇所が解消された。
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	・偕楽園，千波湖周辺や弘道館，水戸城跡周辺地区において，歴史的資源を活かした景観整備，観光の拠点づくりを進める。 ・わんぱーくみと，はみんぐぱーくみとの運営の充実を図り，子育て支援施設を含め多様な施設との連携を図る。 ・新たなまちなか交流拠点の形成を図るため，先に完成した大工町１丁目地区に続き，泉町１丁目北地区の整備を進める。 ・千波公園だけでなく，スポーツやレクレーション施設として自然と親しみ触れ合える東部公園の整備を進める。 ・未だ多くの浸水箇所があることから，浸水対策を進める。

都市再生整備計画　事後評価シート
（添付書類）

（1）成果の評価

添付様式1－①　都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
添付様式1－②　都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（完成状況）
添付様式2－①　都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
添付様式2－②　その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）により計測される効果発現の計測
添付様式2－参考記述　定量的に表現できない定性的な効果発現状況

（2）実施過程の評価

添付様式3－①　モニタリングの実施状況
添付様式3－②　住民参加プロセスの実施状況
添付様式3－③　持続的なまちづくり体制の構築状況

（3）効果発現要因の整理

添付様式4－①　効果発現要因の整理にかかる検討体制
添付様式4－②　数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
添付様式4－③　数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

（4）今後のまちづくり方策の作成

添付様式5－①　今後のまちづくり方策にかかる検討体制
添付様式5－②　まちの課題の変化
添付様式5－③　今後のまちづくり方策
添付様式5－参考記述　今後のまちづくり方策に関するその他の意見
添付様式5－④　目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
添付様式6　当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
添付様式6－参考記述　今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称（当該地区の次期計画も含む

（5）事後評価原案の公表

添付様式7　　事後評価原案の公表

（6）評価委員会の審議

添付様式8　　評価委員会の審議

（7）有識者からの意見聴取

添付様式9　　有識者からの意見聴取

（1）成果の評価

添付様式1－①　都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標	●		目標1：水戸の歴史や文化を活かしたまちづくり 目標2：多世代交流による子育てしやすいまちづくり 目標3：賑わいのある安心・安全なまちづくり	目標1：水戸の歴史的・文化的資源や景観を活用したまちづくりの推進 目標2：暮らしやすく子育てしやすいまちづくりの推進 目標3：便利で安心・安全に暮らすことのできる中心市街地の再生	水戸市総合計画との整合性を図るため
B. 目標を定量化する指標	●		歴史的景観に対する満足度 子育て支援センター利用者数 歩行者空間に対する満足度	歴史的景観に対する満足度 子育て支援センター利用者数 区域内の公園面積 歩行者空間に対する満足度 最大渋滞長 小学校通学路中，歩道幅2m以上の区間延長 道路冠水箇所	事業効果を明確化にするため追加する。
C. 目標値		●			
D. その他（　　）		●			

添付様式1－②　都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（事業の追加・削除を含む）

基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画 事業費	当初計画 事業内容	最終変更計画 事業費	最終変更計画 事業内容	当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況 完成	事後評価時の完成状況 完成見込み
道路	幹線市道4号線	413	L＝380m	421	L=380m	事業費精査による事業費増	影響なし	●	
道路	市道上市217号線	123	L＝180m	123	L=180m				
道路	市道上市213，228号線			219	L=340m	平成23年3月に計画変更して追加	歩行者空間満足度及び小学校通学路中，歩道幅2m以上の区間延長の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。		
道路	市道駅南214号線			11	L=96m	平成23年3月に計画変更して追加	歩行者空間満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	
道路	市道浜田80号線			10	L=100m	平成23年3月に計画変更して追加	子育て支援センター年間利用者数の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	
道路	栄町若宮線			972	L=240m	平成24年2月に計画変更して追加 事業費精査による事業費増	水戸市総合計画との整合性を図るため，目標を変更する。渋滞緩和による利便性の向上が期待できるため，最大渋滞長の指標を追加する。		
道路	市道上市205号線			126	L=550m	平成24年12月に計画変更して追加	歴史的景観満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。		●
道路	市道上市206号線			93	L=150m	平成24年12月に計画変更して追加	歴史的景観満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。		●
道路	市道上市70号線			5	L=50m	平成25年2月に計画変更して追加 事業費精査による事業費減	歴史的景観満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	
道路	偕楽園公園上水戸線			242	L=190m	平成24年4月に計画変更して追加 事業費精査による事業費減	便利で安心・安全に暮らすことのできる中心市街地の再生に関連する。小学校通学路中，歩道幅2m以上の区間延長の指標を追加する。		
公園	千波公園	384	L＝600m	290	L=557m	事業費精査による事業費減	影響なし		●

公園	裡一丁目児童公園				A=2,882㎡	平成23年3月に計画変更して追加	子育て支援センター年間利用者数の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	
公園	東部公園				L＝940m A=3.7ha	平成25年2月に計画変更して追加	目標を定量化する指標として都市公園整備面積を追加する。		●
地域生活基盤施設	(仮称)御杉山坂下広場			9	A= 65㎡	平成24年12月に計画変更して追加	歴史的景観満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。		●
地域生活基盤施設	(仮称)三木家・徳川光圀メモリアルパーク			5	A=720㎡	平成26年3月に計画変更して追加	歴史的景観満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。		●
地域生活基盤施設	(仮称)ぴんころ広場			44	A=260㎡	平成26年3月に計画変更して追加	歴史的景観満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。		
地域生活基盤施設	樋管改修(中央1丁目，城南3丁目)			394	2基	平成25年2月に計画変更して追加 事業費精査による事業費減	目標を定量化する指標として道路冠水箇所を追加する。	●	
地域生活基盤施設	排水路(元吉田町)			156	L=370m	平成25年2月に計画変更して追加	目標を定量化する指標として道路冠水箇所を追加する。	●	
高質空間形成施設	二の丸周辺整備			44	A=370㎡	事業費精査による事業費減	影響なし	●	
高質空間形成施設	備前堀水辺景観整備			21	14基	事業費精査による事業費減	影響なし	●	
高質空間形成施設	市道上市219，224号線(緑化施設等)			34	L=580m	平成23年3月に計画変更して追加	歴史的景観満足度調査の指標にに関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	
高質空間形成施設	市道上市227，228号線(緑化施設等)			24	L=430m	平成23年3月に計画変更して追加	歴史的景観満足度調査の指標にに関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	
高質空間形成施設	水戸駅北口広場(緑化施設等)	50	A=13,850㎡	48	A=13,850㎡	平成23年3月に計画変更して追加 事業費精査による事業費減	歩行者空間満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	
高質空間形成施設	水戸駅北口広場(歩行支援，障害者誘導施設)			2	A=13,850㎡	平成24年5月に計画変更して追加	歩行者空間満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	
高質空間形成施設	市道上市205号線			178	L=550m	平成24年12月に計画変更して追加 事業費精査による事業費増，事業区域の拡大	歴史的景観満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。		●
高質空間形成施設	市道上市206号線			126	L=150m	平成24年12月に計画変更して追加 事業費精査による事業費増	歴史的景観満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。		●
高質空間形成施設	市道上市201号線			73	L=100m	平成25年2月に計画変更して追加	歴史的景観満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	
高質空間形成施設	市道上市6，266号線			57	L=450m	平成25年12月に計画変更して追加 区域の変更	歴史的景観満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	
高質空間形成施設	市道上市250号線			8	L=250m	平成26年3月に計画変更して追加	歴史的景観満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	
高質空間形成施設	水戸城跡景観整備事業(白壁，杉山御門，柵町坂下御門)			140	白壁，門	平成26年3月に計画変更して追加	歴史的景観満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。		●

高次都市施設	水戸市本町1丁目地内	471	A=1,300㎡			事業費精査による事業費減	影響なし	●	
高次都市施設	元吉田町			60	A=3,350.04㎡	平成25年12月に計画変更して追加リノベーション推進施設の一部から移行されたため事業費増	子育て支援センター年間利用者数の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	
地方都市リノベーション推進施設	白梅保育所整備事業			418	A=3,350.04㎡	平成25年2月に計画変更して追加事業費の一部を高次都市施設に移行するため事業費減	子育て支援センター年間利用者数の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造支援事業	白梅保育所整備事業	417	A＝2,500㎡	22	A=3,350.04㎡	地方都市リノベーション推進施設への移行に伴い，事業費減	影響なし	●	
	水戸城跡発掘調査	232	A＝1,992㎡	63	A= 2,124㎡	当該事業の一部を別事業としたため事業費減及び事業期間の変更	歴史的景観満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	
	二の丸周辺景観整備	21	L＝300m	34	L=224m	事業量変更による事業費増	歴史的景観満足度の指標に関連するが，指標及び数値目標は据え置く。	●	
	千波湖浄化装置改修事業	24	10基			当該実施を見合わせたため削除	影響なし		
	都市景観重点地区特定等表示板設置事業	2	3基			当該事業を単市事業としたため削除	影響なし		
	都市景観形成助成補助金	10	L＝75m			当該事業を単市事業としたため削除	影響なし		
	栄町若宮線景観設計事業			20	L=600m	平成24年2月に計画変更して追加	水戸市総合計画との整合性を図るため，目標を変更する。渋滞緩和による利便性の向上が期待できるため，最大渋滞長の指標を追加する。	●	
事業活用調査									
まちづくり活動推進事業									

（参考）関連事業

事業 / 細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
		当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
大工町１丁目地区市街地再開発事業	大工町１丁目	約1.5ha	約1.5ha	平成11年～平成25年	平成11年～平成25年	事業完了	
水戸市立第二中学校改築事業	三の丸２丁目	7,949㎡	7,949㎡	平成18年～平成22年	平成18年～平成22年	事業完了	
都市景観重点地区指定等表示板設置事業	備前堀沿道地区		3基		平成22年～平成26年	事業中	
都市景観形成助成補助金	備前堀沿道地区		L=75m		平成22年～平成26年	事業中	
社会資本整備総合交付金事業(B事業)	(仮称)東部公園		L=940m A＝3.7ha		平成25年～平成26年	事業中	
社会資本整備総合交付金事業(C事業)	二の丸周辺交通体系調査				平成26年～平成26年	事業中	
社会資本整備総合交付金事業(C事業)	市道上市205号線(NPOへの間接補助)				平成26年～平成26年	事業中	
社会資本整備総合交付金事業(C事業)	水戸駅北口駅前広場				平成26年～平成26年	事業中	

添付様式２－①　都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指　標		単位	データの計測手法と評価値の求め方（時期、場所、実施主体、対象、具体手法等）	（参考）※1 計画以前の値（ア）	基準年度	従前値（イ）	基準年度	目標値（ウ）	目標年度	数値（エ）			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
															あり	なし
指標1	歴史的景観に対する満足度	%	平成26年8月に市民センターに依頼し，住民の景観に対する満足度を評価値とする。			26.8	H21	34	H26	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定	63.6	事後評価	○		
											見込み ●					
指標2	子育て支援センター利用者数	人	子育て支援センター2箇所が完成していることから，平成25年度における利用者数を評価値(確定値)とする。			55,000	H21	70,000	H26	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●	98,957	事後評価	○		
											見込み					
指標3	区域内の公園面積	ha	従前値に水戸市中心市街地地区における新たな開設面積を加えている。計測時点では完了していない事業があるが，計測した値をそのまま評価値(見込み値)とする。			80.74	H22	85.75	H26	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定	82.05	事後評価	△		○
											見込み ●					
指標4	歩行者空間に対する満足度	%	通学路及び生活道路としての利用が多い小，中学生及び保護者を対象にアンケートを実施。整備の対象となっている路線の満足度を6段階で評価し，それを評価値とする。			26.7	H21	36	H26	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●	28.9	事後評価	△		
											見込み					
指標5	最大渋滞長	m	-			50	H23	0	H26	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定	50	事後評価	×		○
											見込み ●					
指標6	小学校通学路中，歩道幅2m以上の区間延長	m	地区内所在の小学校通学路のうち，市道の歩道幅を2m以上確保する区間の延長を計測。			7,070	H23	7,890	H26	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定	7,270	事後評価	△		○
											見込み ●					
指標7	道路冠水箇所	箇所	平成26年7月時点の道路冠水箇所数を計測し，それを評価値とする。			7	H24	3	H26	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●	3	事後評価	○		
											見込み					

指　標	目標達成度○△×の理由（達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む）	その他特記事項（指標計測上の問題点、課題等）
指標1	弘道館・水戸城跡周辺地区や偕楽園周辺地区において，歴史性に配慮したまちなみや道路景観整備を行い，期待以上の成果を上げることができた。	
指標2	地域交流センター(はみんぐぱーく・みと)は，子育て支援や多世代交流に関する多様な施策を推進しており，その利用者数においては評価値が目標値を大幅に超えている。	
指標3	事後評価時点では数値目標に至っておらず，都市公園の開設面積の数値目標の達成が困難であると判断した。	本指標では，都市公園の開設面積を数値目標としているが，都市公園の開設面積に位置付けのある千波公園の満足度調査を補完する。併せて数値目標達成のため，都市公園の整備を図る必要がある。

指標4	安全で快適な歩道の整備を進めてきたが，歩行者空間満足度の目標値に達することができなかった。	幹線市道4号線の道路整備は完成したが，アンケートの実施方法について整備前後の写真を添付するなどの工夫が必要だった。
指標5	事業評価時点では完成に至っていないが，中心市街地へのアクセス性向上のため，早期の整備が急がれる。	栄町若宮線の道路整備が未完成のため，1年以内の達成見込みはないと予測される。
指標6	事業評価時点では数値目標に至っていないが，通学路において安全に通行できる歩道の早期の整備が急がれる。	栄町若宮線をはじめ，偕楽園公園上水戸線の道路整備が未完成のため，1年以内の達成見込みはないと予測される。
指標7	集中豪雨時における浸水箇所において排水路の整備が完了したため，浸水箇所が残り3か所となり目標が達成された。	

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。
※2 目標達成度の記入方法
○：評価値が目標値を上回った場合
△：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
×：評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2－② その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

指 標		単位	データの計測手法と評価値の求め方（時期、場所、実施主体、対象、具体手法等）	（参考）※1 計画以前の値（ア）	基準年度	従前値（イ）	基準年度	数値（ウ）			本指標を取り上げる理由	その他特記事項（指標計測上の問題点、課題等）
その他の数値指標1	公園利用者満足度調査	%	千波公園の利用者に対し，満足度調査を計測する。	－		59.4	H21	モニタリング			千波公園の満足度調査を実施することにより，今後の整備に影響を与えると考えられるため。	指標3を補完する。
								事後評価	確定見込み	93.1		
その他の数値指標2	歩行者空間満足度調査（利用者へのアンケート）	%	幹線市道4号線の実際の歩行者に対し，アンケートを実施する。	－		―		モニタリング			指標4の満足度調査を近隣学校ではなく，実際の歩行者に対して実施する。	指標4を補完する。
								事後評価	確定見込み	70.9		
その他の数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。

添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・地域交流センター(はみんぐぱーく・みと)を整備したことにより，先に完成したわんぱーく・みとと併せた両施設が中核的拠点となり，地域の子育て支援施設との有機的な連携や多世代交流の充実，子育てしやすい環境の整備が整った。

（2）実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3－①　モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			

添付様式3－②　住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			

添付様式3－③　持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			ⅰ．体制構築に向けた取組内容	ⅱ．まちづくり組織名：組織の概要	
なし	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由　　)				
	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由　　)				

（3）効果発現要因の整理

添付様式4－①　効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事業ワーキンググループ	庁内の関係各課(政策企画課，財政課，市民生活課，商工課，観光課，建設計画課，公園緑地課，市街地整備課，住宅課，泉町・大工町周辺地区開発事務所，都市計画課)	平成26年8月28日	都市計画部都市計画課(都市再生整備計画事業担当課)

添付様式4－②　数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標7		その他指標2	
指　標　名		歴史的景観に対する満足度		子育て支援センター利用者数		道路冠水箇所		千波公園利用者満足度	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路・幹線市道4号線	－	弘道館・水戸城跡周辺地区や偕楽園周辺地区において，道路，景観整備及び施設整備を行ったことで事業効果が上がり，指標の達成につながった。	-	子育て支援・多世代交流センターの整備により新たな交流拠点が形成され，指標の達成につながった。	-	集中豪雨時による浸水箇所の一部解消により，指標の達成につながった。	-	水戸のシンボル空間の一角をなす千波公園の整備により，利用者の満足度が向上し，賑わいの再生につながった。
	道路・市道上市217号線	△		-		-		-	
	道路・市道上市213，228号線	△		-		-		-	
	道路・市道駅南214号線	－		○		-		-	
	道路・市道浜田80号線	-		◎		-		-	
	道路・栄町若宮線	△		-		-		-	
	道路・市道上市205号線	△		-		-		-	
	道路・市道上市206号線	△		-		-		-	
	道路・市道上市70号線	◎		-		-		-	
	道路・偕楽園公園上水戸線	-		-		-		-	
	公園・千波公園	○		○		-		◎	
	公園・裡一丁目児童公園	－		◎		-		-	
	地域生活基盤施設・(仮称)御杉山坂下広場	△		-		-		-	
	地域生活基盤施設・(仮称)三木家・徳川光圀メモリアルパーク	△		-		-		-	
	地域生活基盤施設・(仮称)ぴんころ広場	△		-		-		-	
	地域生活基盤施設・樋管改修(中央1丁目，城南3丁目)	-		-		◎		-	
	地域生活基盤施設・排水路(元吉田町)	-		-		◎		-	
	高質空間形成施設・二の丸周辺整備	◎		○		-		-	
	高質空間形成施設・備前堀水辺景観整備	◎		-		-		-	
	高質空間形成施設・市道上市219，224号線(緑化施設等)	◎		-		-		-	
	高質空間形成施設・市道上市227，228号線(緑化施設等)	◎		-		-		-	
	高質空間形成施設・水戸駅北口広場(緑化施設等)	-		-		-		-	
	高質空間形成施設・水戸駅北口広場(歩行支援，障害者誘導施設)	-		-		-		-	
	高質空間形成施設・市道上市205号線	△		-		-		-	
	高質空間形成施設・市道上市206号線	△		-		-		-	
	高質空間形成施設・市道上市201号線	◎		-		-		-	
	高質空間形成施設・市道上市6，266号線	◎		-		-		-	

	高質空間形成施設・市道上市250号線	－			-			-		-
	高質空間形成施設・水戸城跡景観整備事業(白壁，杉山御門，柵町坂下御門)	△			-			-		-
	高次都市施設・水戸市本町1丁目地内	-			◎			-		-
	高次都市施設・水戸市元吉田町	-			◎			-		-
	地方都市リノベーション推進施設・白梅保育所整備事業	-			◎			-		-
提案事業	地域創造支援事業・白梅保育所整備事業	-			◎			-		-
	地域創造支援事業・水戸城跡発掘調査	◎			-			-		-
	地域創造支援事業・二の丸周辺景観整備	◎			-			-		-
	地域創造支援事業・栄町若宮線景観設計事業	△			-			-		-
関連事業	大工町1丁目地区第一種市街地再開発事業	-			-			-		-
	水戸市立第二中学校改築事業	◎			-			-		-
	都市景観重点地区指定等表示板設置事業	△			-			-		－
	都市景観形成補助金	○			-			-		－
	社会資本整備総合交付金事業(B事業)(仮称)東部公園	-			-			-		-
	社会資本整備総合交付金事業(C事業)二の丸周辺交通体系調査	△			-			-		-
	社会資本整備総合交付金事業(C事業)市道上市205号線	◎			-			-		-
	社会資本整備総合交付金事業(C事業)水戸駅北口駅前広場	-			-			-		-

※指標改善への貢献度

◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。

○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。

△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。

－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	歴史・観光ロードの整備だけでなくソフト事業など回遊性を高める施策を推進する。	新たな交流拠点の形成により，さらなる多世代の交流を促進する。	浸水被害の発生箇所の解消を図る。	自然や水辺環境を生かした特色ある整備を推進する。

添付様式4－③　数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標3			指標4		指標5			指標6		
指　標　名		区域内の公園面積			歩行者空間に対する満足度		最大渋滞長			小学校通学路中，歩道幅2m以上の区間延長		
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	指標改善への貢献度	総合所見	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路・幹線市道4号線	-	交流人口の拡大のため都市公園の整備を行ってきたが，一部の都市公園整備が完了せず，目標達成には至らなかった。	Ⅱ	××　快適な歩行者空間の整備を行ってきたが，指標の達成には至らなかった。		-	渋滞緩和及び中心市街地へのアクセス性の向上を図るため道路整備を行ってきたが，完成が予定よりも遅れたため，指標達成には至らなかった。	Ⅲ	△	通学路の安全確保の観点から歩道整備を行ってきたが，一部の歩道が完成しないため，指標達成には至らなかった。	Ⅲ
	道路・市道上市217号線	-			－		-			-		
	道路・市道上市213，288号線	-			－		-			-		
	道路・市道駅南214号線	-			－		-			-		
	道路・市道浜田80号線	-			－		-			-		
	道路・栄町若宮線	-			－		××			××		
	道路・市道上市205号線	-			－		-			-		
	道路・市道上市206号線	-			－		-			-		
	道路・市道上市70号線	-			－		-			-		
	道路・偕楽園公園上水戸線	-			－		-			××		
	公園・千波公園	△			-		-			-		
	公園・裡一丁目児童公園	-			-		-			-		
	地域生活基盤施設・(仮称)御杉山坂下広場	-			-		-			-		
	地域生活基盤施設・(仮称)三木家・徳川光圀メモリアルパーク	-			-		-			-		
	地域生活基盤施設・(仮称)ぴんころ広場	-			-		-			-		
	地域生活基盤施設・樋管改修(中央1丁目，城南3丁目)	-			-		-			-		
	地域生活基盤施設・排水路(元吉田町)	-			－		-			-		
	高質空間形成施設・二の丸周辺整備	-			－		-			-		
	高質空間形成施設・備前堀水辺景観整備	-			－		-			-		
	高質空間形成施設・市道上市219，224号線(緑化施設等)	-			－		-			-		
	高質空間形成施設・市道上市227，228号線(緑化施設等)	-			－		-			-		
	高質空間形成施設・水戸駅北口広場(緑化施設等)	-			△		-			-		
	高質空間形成施設・水戸駅北口広場(歩行支援，障害者誘導施設)	-			△		-			-		
	高質空間形成施設・市道上市205号線	-			－		-			-		
	高質空間形成施設・市道上市206号線	-			－		-			-		
	高質空間形成施設・市道上市201号線	-			－		-			-		
	高質空間形成施設・市道上市6，266号線	-			－		-			-		
	高質空間形成施設・市道上市250号線	-			－		-			-		
	高質空間形成施設・水戸城跡景観整備事業(白壁，杉山御門，柵町坂下御門)	-			－		-			-		
	高次都市施設・水戸市本町1丁目地内	-			－		-			-		
	高次都市施設・水戸市元吉田町	-			-		-			-		
	地方都市リノベーション推進施設・白梅保育所整備事業	-			-		-			-		
提案事業	地域創造支援事業・白梅保育所整備事業	-			-		-			-		
	地域創造支援事業・水戸城跡発掘調査	-			-		-			-		
	地域創造支援事業・二の丸周辺景観整備	-			-		-			-		
	地域創造支援事業・栄町若宮線景観設計事業	-			-		-			-		

関連事業	大工町1丁目地区第一種市街地再開発事業	-			－			-			-			
	水戸市立第二中学校改築事業	-			-			-			-			
	都市景観重点地区指定等表示板設置事業	-			－			-			-			
	都市景観形成補助金	-			－			-			-			
	社会資本整備総合交付金事業(B事業)(仮称)東部公園	××			-			-			-			
	社会資本整備総合交付金事業(C事業)二の丸周辺交通体系調査	-			×			-			-			
	社会資本整備総合交付金事業(C事業)市道上市205号線	-			－			-			-			
	社会資本整備総合交付金事業(C事業)水戸駅北口駅前広場	-			－			-			-			

※目標未達成への影響度

××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。

×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。

△：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。

－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。

分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。

分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。

分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 （記入は必須）	指標設定時には，課題-目標-事業等との関係性を確認し，適切な指標設定に努める。 快適な公園づくりに向け，地元の協力を得ながら，事業を進めていく。	指標設定時には，課題-目標-事業等との関係性を確認し，適切な指標設定に努めるとともに，従前・従後の結果を比較できるような数値の取り方を検討する。 利用者の意見を取り入れながら，安全で快適な歩行者空間を推進する。	指標設定時には，課題-目標-事業等との関係性を確認し，適切な指標設定に努める。 交差点改良など渋滞解消に向け，地元の協力を得ながら安全で快適な道路環境の整備を行っていく。	指標設定時には，課題-目標-事業等との関係性を確認し，適切な指標設定に努める。 特に小学校通学路として利用している歩道については，誰もが安心して移動できる歩行者空間を整備していく。

（4）今後のまちづくり方策の作成

添付様式5－①　今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事業ワーキンググループ	庁内の関係各課(政策企画課，財政課，市民生活課，学校施設課，商工課，観光課，建設計画課，公園緑地課，市街地整備課，住宅課，泉町・大工町周辺地区開発事務所，都市計画課)	平成26年8月28日	都市計画部都市計画課(都市再生整備計画事業担当課)

添付様式5－②　まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載したまちの課題	達成されたこと（課題の改善状況）	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
公共施設の老朽化に伴う区域内の更新及び都市機能の拡大防止と公共・公益サービスの充実を図る	・設定した中心拠点区域内にある未利用地を活用して白梅保育所の移転改築を行ったことにより，公共・公益サービスの充実が図られた。 ・地域交流センター(はみんぐぱーくみと)整備により，多様な子育て支援，多世代交流の推進が図られ，まちの活性化に繋がっている。	公共施設の区域内での更新・複合化や都市機能の拡大防止のためのまちづくりの方向性の整理	
再開発事業の促進を図るほか，歴史的資源である偕楽園や弘道館を生かした道路整備などまちの魅力を高めるための取組	・大工町1丁目地区市街地再開発事業の完成によりまちなか交流拠点の形成が図られた。 ・偕楽園や弘道館周辺地区において，道路整備や景観整備により，歴史性に配慮したまちなみ景観が形成された。	・まちなか交流拠点と他事業の組み合わせるなど都市再生整備計画の特徴を活用することによる，まちのにぎわいづくりが必要	
子育て中の親同志の交流の場の確保や情報提供，こどもから高齢者までの多世代交流の推進	・地域交流センター(はみんぐぱーくみと)整備により，多様な子育て支援，多世代交流の推進が図られ，まちの活性化に繋がっている。	・まちなか交流拠点と他事業の組み合わせるなど都市再生整備計画の特徴を活用することによる，まちのにぎわいづくりが必要	
交流人口の拡大や子育て支援・多世代交流，健康づくりの推進を図るため，千波公園や(仮称)東部公園の整備	・水戸のシンボル空間であり，市民に親しまれている千波公園の整備により，誰もが気軽に訪れることができる広場として多世代の交流が図られた。	・スポーツ，レクリエーションや自然を中心とした交流空間の創出のため，(仮称)東部公園の早期整備が課題	
集中豪雨時における浸水被害から市民の生活や財産を守るための浸水対策	・局地的な集中豪雨時における低地部付近の排水路整備により，一部浸水箇所が解消された。	・宅地化や東日本大震災の影響により，未だ浸水被害が解消されない地域が多いため，総合的な浸水対策が必要	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記載

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄記載

添付様式5－③　今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	歴史性に配慮したまちなみ景観整備	・偕楽園・千波湖周辺や弘道館・水戸城跡周辺地区において，歴史的資源を活かした景観整備，観光の拠点づくりを進める。	・観光拠点の整備 ・歴史・観光ロードの整備 ・回遊ルートの設定 ・観光PR活動
	多世代交流の推進	・水戸のシンボルである千波公園の活用策の検討	・効果的な施設の維持管理 ・千波公園のイベント実施
	交流拠点の形成	新たなまちなか交流拠点の形成を図るため，先に完成した大工町1丁目地区に続き，泉町1丁目北地区の整備を行っていく。	・市街地再開発事業 ・コンパクトなまちづくりのための方針策定 ・施設へのアクセス経路の整備

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改　善　策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	・まちなか交流拠点と他事業の組み合わせるなど都市再生整備計画の特徴を活用することによる，まちのにぎわいづくりが必要	都市再生整備計画の特性を生かし，まちなか交流拠点の整備と周辺道路の整備などを絡めたまちづくりを推進する。	・施設・道路の有機的連携の検討 ・ソフト事業活用の検討
	・スポーツ，レクリエーションや自然を中心とした交流空間の創出のため，(仮称)東部公園の早期整備が課題	多世代交流に向け，スポーツやレクリエーション施設を整備するとともに，自然と親しみ触れ合える東部公園の整備を進める。	・(仮称)東部公園の整備 (自然公園ゾーン，スポーツ・レクリエーションゾーン整備)
	・宅地化や東日本大震災の影響により，未だ浸水被害が解消されない地域が多いため，総合的な浸水対策が必要	未だ多くの浸水箇所があることから，浸水対策を進める。	・排水路整備事業

■様式５－③は下記の検討結果を踏まえて記載（チェック欄）

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
●	事業の実施過程の評価（添付様式３）を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式４－②）を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式４－③）を再確認した。
●	残された課題や新たな課題（添付様式５－②）を再確認した。

添付様式５－参考記述　今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式５－④　目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

指標		単位	従前値	年度	目標値	年度	評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画 予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	歴史的景観に対する満足度	%	26.8	H21	34	H26	確定		63.6	○	あり		平成28年３月	整備箇所の周辺住民に市民センターを通して景観満足度調査依頼し，計測する。	-
							見込み	○			なし				
指標2	子育て支援センター利用者数	人	55,000	H21	70,000	H26	確定	○	98,957	○	あり		-	-	-
							見込み				なし				
指標3	区域内の公園面積	ha	80.74	H22	85.75	H26	確定		82.05	△	あり		平成30年3月	従前値に新たな開設面積を加える。	－
							見込み	○			なし	○			
指標4	歩行者空間に対する満足度	%	26.7	H21	36	H26	確定	○	28.9	△	あり		-	-	-
							見込み				なし				
指標5	最大渋滞長	m	50	H23	0	H26	確定		－	×	あり		平成28年３月	栄町若宮線の交差点における渋滞延長を計測する。	-
							見込み				なし	○			
指標6	小学校通学路中，歩道幅2m以上の区間延長	m	7,070	H23	7,890	H26	確定		7,270	△	あり		平成28年３月	地区内所在の小学校通学路のうち，市道の歩道幅を2m以上確保する区間の延長を計測する。	
							見込み	○			なし	○			
指標7	道路冠水箇所	箇所	7	H24	3	H26	確定	○	3	○	あり		-	-	-
							見込み				なし				
その他の数値指標1	千波公園利用者満足度調査	%	59.4	H21			確定	○	93.1				－	－	－
							見込み								
その他の数値指標2	歩行者空間満足度調査（利用者へのアンケート）	%	－－				確定	○	70.9						
							見込み								
その他の数値指標3							確定								
							見込み								

添付様式6　当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	歴史的景観満足度調査，子育て支援センター利用者数は目標値を達成しており，一定の活性化が図られた。	事業期間の正確な予測のもと，計画を策定する。段階的な整備では，計画ごとに一定の成果が達成されるよう工夫する。
	うまく いかなかった点	最大渋滞長は，未完成のため計測不能であった。アウトプット指標も一部未完成の道路があり，目標達成には至らなかった。。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	歴史的景観満足度調査，子育て支援センター利用者数について，目標と整合が図られた。	計画作成において，目標と整合した適切な事業の選択を行う。
	うまく いかなかった点	目標，指標と事業の関係性に偏りがあった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	－	都市再生整備計画について，より積極的に公表していく。
	うまく いかなかった点	－	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	特になし	各課と密な連携をとり，目標を意識して事業を実施していく。
	うまく いかなかった点	数値目標が達成される見込みだったため，モニタリングは実施しなかった。担当課が多岐に渡るため，各担当課で計画や目標に基づいて事業を実施しているという意識が薄かった。	
その他	うまくいった点	特になし	
	うまく いかなかった点	特になし	

添付様式6－参考記述　今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称（当該地区の次期計画も含む）

・今後活用を予定している地区
　水戸市中心市街地地区の次期計画を予定している(平成27年度～)。
・事後評価を予定している地区
　H27年度に赤塚駅周辺地区（2期）を予定している。

（5）事後評価原案の公表

添付様式7　事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに原案を掲載	平成26年11月15日	平成26年11月17日～平成26年12月15日(約1か月)	担当課窓口，郵送，電子メールにより受け付ける。	都市計画部都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	市広報誌に，市のホームページ及び担当課窓口で原案を公表している旨を掲載	平成26年11月15日号	平成26年11月17日～平成26年12月1日(2週間)		
説明会・ワークショップ	-				
その他	担当窓口において原案閲覧	平成26年11月17日～平成26年12月15日(約1か月)	平成26年11月17日～平成26年12月15日(約1か月)		

住民の意見	【全体】 ・市道上市〇〇線等という表現では，一般市民にはわかりづらいと思いますので，次回からは，市道上市〇〇線（通称：〇〇通り）などと，一般に知られている名称を併記するといいと思います。 ・事業の評価について，「補助金を投入したことにより，工期が短縮された」「市町村単独ではできなかった事業ができるようになった」等という見方も加えてもいいと思います。 【事業内容】 ・栄町若宮線：道路が広くなり，便利になりましたが，なぜ，五軒地区はやらないのでしょうか。小学生の通学路の安全を確保するためにも，今後は，五軒小学校前も広げてください。 ・幹線市道4号線：常陽銀行職員駐車場やNHK水戸の前の通りなどは，以前は歩道が狭く，電柱もあり，歩くのに不便でしたが，今は，歩道が広くなり，快適になりました。自転車も通りやすくなりました。 ・市道上市201号線：三の丸臨時庁舎前がきれいに整備され，“三の丸のお堀の桜”に見合う道路になった思います。一方，市道上市202号線は，植込みで車道が狭くなったり，歪曲しているところがあります。スピード防止のためか，美観のためかはわかりませんが，自転車と車が並走する際に，非常に危なくなっています。なるべく，そういう整備をしないでください。 ・市道上市217号線：偕楽園の表門に来る観光客のために整備したiのだ思いますが，余り使用されていない気がします。ここに税金を投入するのであれば，他の事業に充ててほしいです。 ・市道上市213，228号線：偕楽園・常磐神社利用者の交通アクセス向上のための重要地点でなので，一方通行を解消してください。 ・市道上市205号線：水戸一高生や三高生の通学路の安全を確保するために，効果があると思います。第二中学校や第三高等学校前の道路整備や白壁を整備することによって，「文教都市・水戸」のイメージアップにつながりました。ただし，杉山御門は市民のほとんどが知らないと思うので，広くPRしたほうが良いと思います。 ・市道上市206号線：高校3年間の通学路でしたので，詳しく知っておりますが，当時は，路面の凹凸や勾配が激しく，車の通行も多いので，何かと不便だった記憶があります。ここが整備されると，那珂川沿いのアクセスがよくなるので，非常に効果的だと思います。 ・（仮称）御杉山坂下広場：こんなところに，広場をつくっても，誰も利用しないと思います。 ・市道上市219，224号線：一方通行が解消されれば，整備する意味はあると思います。 ・市道上市227，228号線：常磐神社と西の谷公園を結ぶ道路で，水戸市民や観光客の利用頻度も高い路線なので。ここが広くなったことで，歩いて楽しめる空間が増えたと思います。 ・水戸駅北口広場：高齢者や障害者等にも配慮した歩きやすく，やさしい整備ができたと思います ・市道上市6,266号線：三の丸小学校が元々お城をイメージした学校だと思います。今回道路を合わせた感じになったので，城郭のイメージができ，弘道館への入り口として良くなったのではないでしょうか。 ・市道上市250号線：協同病院の改築も予定されてるいるようですし，交通量もあることから，整備は効果的だと思います。今後は，リリー文化学園の前の整備やJA会館前の整備など，周辺の道路も拡幅して，一方通行の解消を検討してください。

（6）評価委員会の審議

添付様式8　評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	山田 稔（茨城大学工学部都市システム工学科教授） 出井　滋信（一般財法人　常陽地域研究所センター理事事務局長） 鹿倉　よし江（水戸女性会議会長）	平成26年12月	都市計画部都市計画課	水戸市都市再生整備計画事業評価専門委員規則	独自に設置
その他の委員					

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って，事後評価が適正に実施されたことが確認された。 ・指標5については，計測時期による需要変動の影響を考慮すべきであり，調査の季節も揃えることが望まれる。
	成果の評価	・指標4については，その他の数値指標1が追加されたことで，公園事業全体の有効性が確認できたと判断できる。ただし，その他の数値指標1は公園事業全体の効果を評価できるものではあるが，指標3の代替ではなく，引き続き開設面積により当初目標の達成状況を評価していくことも重要であるという意見があった。 ⇒　指摘を受けて添付様式2－①修正
	実施過程の評価	・ワーキンググループを設置して庁内の意見集約を図ることは，事業実施に大いに寄与しているという意見があった。 ・実施されていないのは当初計画通りであるが,指標4ではモニタリングや参加プロセスを取り入れることにより、評価方法の課題を改善できた可能性がある。 ⇒意見を基にその他の数値指標2を追加 ・計画期間中に東日本大震災が発生し多大な被害を被ったばかりか，福島原発事故後の風評被害を受けるなど，事業推進への逆風が強かったにもかかわらず，庁内横断で災害復旧・復興と併せて本事業を推進してきたことは，プロセス評価として加味すべきではないだろうかという意見があった。
	効果発現要因の整理	・子育て支援・多世代交流センター事業の整備に併せて，公園整備事業（裡一丁目児童公園）を実施したことは，都市再生整備計画事業をうまく利用できたと思われるという意見があった。 ・二の丸周辺事業については，資料館や景観整備だけでなく，お休み処なども事業に入れた方がより事業効果が高まったのではないかという意見があった。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案は、妥当に公表されたと思われる。 ・本評価書には表現できていない点などをアンケート調査結果等を別途公表するなどにより，市民にフィードバックすることで事業への理解が深まるよう配慮されることが望ましい。
	その他	特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・本事業計画においてはハード事業が主体となっていたが，今後，水戸市が目指す都市像を実施していく上ではハードを活かしたソフト事業への弛まぬ取組みが不可欠であると思われる。今後のまちづくり方策は，このような認識に基づいており適格な方向性であるといえる。都市再生整備事業だけでなく民間事業等との協同等を目指してはどうかという意見があった。 ・「さらなるまちの賑わい，活力の向上..」とあるが，これは一般的すぎるので具体的に今期に不十分だった点や今期の成果を活用して改善を期待できそうな点に絞って示していただくとわかりやすい。今回達成できなかった事業についても継続性が重要であり，今後に期待したいという意見があった。 ⇒　指摘を受けて添付様式5を修正
	フォローアップ	・指標に対して大きく関わる事業が完了していないために指標が未達であるものがあるので，事業が完了次第，早期にフォローアップを実施すべきという意見があった。
	その他	特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他		特になし。

（7）有識者からの意見聴取

添付様式9　有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理（添付様式5）、今後のまちづくり方策の検討（添付様式6）、評価委員会の審議（添付様式9）以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	